

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年6月29日(2006.6.29)

【公表番号】特表2006-505302(P2006-505302A)

【公表日】平成18年2月16日(2006.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2006-007

【出願番号】特願2004-512485(P2004-512485)

【国際特許分類】

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

A 6 1 B 17/00 (2006.01)

A 6 1 B 17/32 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/00 3 2 0 A

A 6 1 B 17/00 3 2 0

A 6 1 B 17/32 3 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成18年5月11日(2006.5.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の診断器具または治療器具を支持されていない解剖学的構造体の中空の身体器官中に前進させるための装置であって、該装置が、以下：

ハンドル；

該ハンドルに結合したオーバーチューブであって、細長部分、遠位領域、遠位開口およびその間を延びる管腔を有し、第1の診断機器または治療機器の通過を可能にする、オーバーチューブ；ならびに

該遠位開口に隣接する該遠位領域上に配置される非外傷性先端を備え、

ここで、該非外傷性先端が、該遠位開口の近傍で該中空の身体器官を偏向し、該第1の診断器具または治療器具が該遠位開口を通って移動するとき、組織が捕捉されず、または挿まれない、装置。

【請求項2】

前記非外傷性先端が、膨張可能なドーナツ形バルーンを備える、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

前記非外傷性先端が、エラストマーカバーを有するワイヤペタルを備える、請求項1に記載の装置。

【請求項4】

前記非外傷性先端が、発泡体バンパーまたはソフトエラストマーバンパーを備える、請求項1に記載の装置。

【請求項5】

前記オーバーチューブが、屈曲形態で該オーバーチューブをロックするための手段を含む、請求項1に記載の装置。

【請求項6】

前記屈曲形態でオーバーチューブをロックするための手段が、以下：

複数の入れ子式要素；

入れ子式要素を一緒に突き通す複数の引張ワイヤ；および  
複数の引張ワイヤに解放可能に結合され得、そしてクランピングロードを複数の入れ子式要素に選択的に適用する引張機構、を備える、請求項5に記載の装置。

【請求項7】

前記ハンドルが、作用軸を有し、前記オーバーチューブの前記管腔が、長手軸を有し、そして該管腔の該長手軸が、該ハンドルの該作用軸に対して角度をなす、請求項1～6のいずれかに記載の装置。

【請求項8】

前記ハンドルが、再使用可能であり、そして前記オーバーチューブが、該ハンドルと取り外し可能に結合される、請求項7に記載の装置。